

平和行進の歴史 ダイジェスト

- 1945 8 米、広島、長崎に原爆投下
- 1946 1・24 国連第1回総会、第1号決議で「原子兵器の廃棄」を求める
- 1950 3 原子兵器完全禁止ストックホルム・アピール署名よびかけ
- 1954 3・1 米、ビキニ環礁で水爆実験、第五福竜丸被災 原水爆禁止署名、全国に広がる
- 1955 8 広島で第1回原水爆禁止世界大会
- 1958 4・20 ロンドンから核兵器工場のあるオルダーマストンへ1万人平和行進(イギリス)
- 6・20 広島—東京1000km平和行進(第1回国民平和大行進)
- 1970 3 核不拡散条約(NPT)発効
- 1985 2・9 核兵器廃絶を求める「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」国際署名開始(2000年に日本で6000万こえる)
- 1986 3 アメリカ大陸横断核廃絶大行進
- 1987 5・6 平和行進30周年国民平和大行進—東京・夢の島を出発
- 8・3 原水爆禁止世界大会が「平和の波」国際共同行動提唱、世界51カ国で実施
- 1988 4・1 第3回国連軍縮特別総会(SSDⅢ)に向けて「広島・長崎の火」リレー出発
- 1995 5 NPT再検討会議、条約の無期限延長を決める
- 1998 5 インドとパキスタンが核実験
- 2000 5 NPT再検討会議で核保有5カ国が「核兵器廃絶の明確な約束」受け入れ
- 2005 5 NPT再検討会議
- 2008 3・23 50周年オルダーマストン平和行進(イギリス)
- 2008 5・6 50周年国民平和大行進(8割をこえる自治体を通過)
- 2009 北朝鮮核実験
- 2010 5 NPT再検討会議・ニューヨーク行動
- 2011 東日本被災地行進
- 2012 4 NPT再検討会議準備会合・ウィーン行動

なくそう核兵器！

あなたの一歩が世界を変える

平和行進とは

1958年6月、原水爆禁止を訴えながら被爆地広島から東京に向けて歩き始めた行進は、歩くという素朴な行動が市民の共感をひろげ、到着するときにはのべ100万人が行進しました。それ以来54年、雨の日も暑い中も休むことなく全国で毎年続けられるこの行動は、世界にも類をみません。

現在では全都道府県の8割を越える自治体を通り、毎年10万人が参加しています。「核兵器のない平和で公正な世界を」を願う人なら、誰もが参加できる行動です。



平和行進から原水爆禁止2012年世界大会へ！ 全国から広島・長崎へ！



ノーモア・ヒバクシャ！

被爆から66年が経過し、被爆者の平均年齢は77歳を超え、今も20万人を超える被爆者が心と体に傷を負って暮らしています。被爆者の願いは、世界のどこでも再び被爆者をつくらせないことです。「命あるうちに核兵器の廃絶を」と訴え続けています。

世界にはいまでも、2万数千発もの核兵器が配備・貯蔵されています。人類と核兵器は絶対に共存できません。

核兵器のない世界へ、歴史のページを開こう

今年は4月30日から、オーストリアの首都のウィーンで次回(2015年)核不拡散条約(NPT)再検討会議のための第1回準備会合が開かれます。

今年の行進は世界の反核平和運動がウィーンに結集し、核兵器の廃絶を求める行動を行う中でスタートします。被災地の支援をよびかけながら、核兵器の全面禁止、非核平和の日本へ新たな一歩を踏み出しましょう。皆さんの思いを原水爆禁止2012年世界大会へ届けましょう！